

取扱いの趣旨

著しく歯科診療が困難な状況によっては、永久歯の臼歯と同様に処置後の自己管理が十分にできない場合もあることから、著しく歯科診療が困難な者の永久歯の前歯に行ったう蝕薬物塗布処置の算定は原則として認められる。

支払基金が公表している取扱いの全文

【処置】 《平成28年8月29日》

23 う蝕薬物塗布処置

○ 取扱い

原則として、著しく歯科診療が困難な者に対し、永久歯の前歯に対するう蝕薬物塗布処置の算定を認める。

○ 取扱いを定めた理由

著しく歯科診療が困難な状況によっては、永久歯の臼歯と同様に処置後の自己管理が十分にできない場合もあり、永久歯の前歯に対してう蝕薬物塗布処置を行うことは歯科医学的にもあり得ることから、算定は認められる。

グラフの見方

1 棒グラフ（該当レセプトの審査結果）

う蝕薬物塗布処置を算定しているレセプト1万件当たり、条件（歯科診療特別対応加算又は初診時歯科診療導入の算定があり、永久歯の前歯に対してう蝕薬物塗布処置を算定）に該当するレセプト件数

2 折れ線グラフ

該当レセプトのうち、う蝕薬物塗布処置が
査定・返戻となった割合

【棒グラフ凡例】審査の結果

請求どおり			: 取扱いどおり
査定 審査委員	査定 職員契機	返戻	: 検証が必要

審査結果の概要

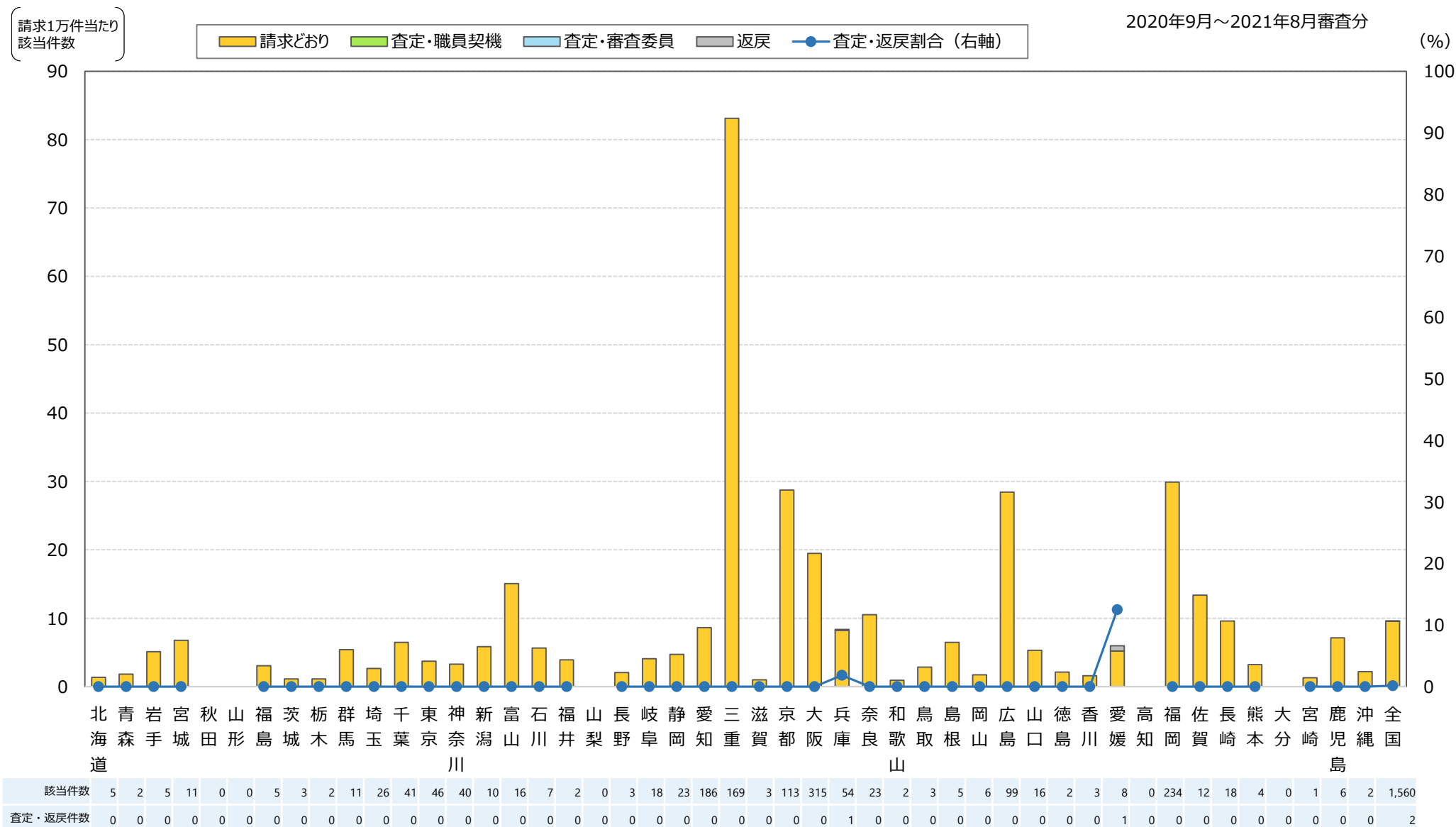
- 全国の査定・返戻割合 0.13%
- 検証を必要とする支部 2支部

検証観点	特に検証を要する支部	備考
査定・返戻割合が高い支部	愛媛、兵庫	査定・返戻割合の高い順
査定・職員契機	—	
査定・審査委員	兵庫	対象1万件当たり査定件数の多い順
返戻	愛媛	対象1万件当たり返戻件数の多い順
該当件数（全国）	歯科診療特別対応加算又は初診時歯科診療導入の算定があり、永久歯の前歯に対してう蝕薬物塗布処置を算定	1,560件
取扱いに基づく審査	請求どおり	1,558件
検証を必要とする審査	査定・返戻の計	2件

事例23 著しく歯科診療が困難な者の永久歯の前歯へのう蝕薬物塗布処置の取扱い

【認める事例】

2020年9月～2021年8月審査分



【該当件数】 歯科診療特別対応加算又は初診時歯科診療導入の算定があり、永久歯の前歯に対してう蝕薬物塗布処置を算定しているレセプト件数